

体力勝負の矢板東高等学校山岳部

矢板東高等学校の山岳部は、今年六月に行われた栃木県高等学校登山大会兼第六十回関東高等学校登山大会県予選会で男子は団体四位、女子は団体一位となり、十月に行われる関東大会（埼玉県奥秩父の山域で）へ男子・女子とも出場が決定しました。関東大会への出場は、十年連続になります。

山岳部の活躍について顧問の関谷恭弘先生と部長の相馬佑紀さんにお話を伺いました。



れた達成感から、山登りが好きになったと言っています。

●練習はどのように

週一〜三回、一時間程度、大会と同じ重さの歩荷物（ぼっかぶつ）を背負って、学校近くの公園や長峰公園の階段で上り下りをして練習しています。

（S・M）

は、天気図作成、地形図や現在地を見ての読図などで競います。また、テント設置や炊事なども審査されます。

●心掛けていることは

男女とも良き仲間・ライバルということを感じ合いつながり、チームワークを考え、成果を発揮できるように心掛けています。

●今後の抱負は

目標は県大会で優勝し、インターハイ出場することです。

また、山の清掃登山ボランティアに参加したいと考えています。

●山岳部の創部と現在の部員数は
矢板東高等学校の前身である矢板高等学校時代の昭和三十三年に創部しました。現在の部員は男子が六名（全員二年生）、女子三名（二年生一名、一年生二名）の計九名です。少数精鋭で仲が良く、男女の隔たりはありません。

●山岳部に入った理由

私は、中学時代に陸上部に入っていたので、体力に自信があり、それを生かして好きな山登りをしたいと思い、入部しました。

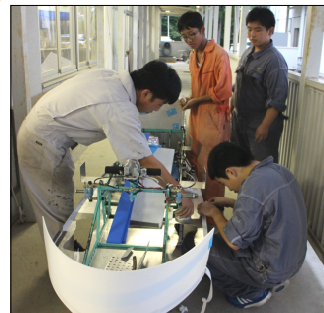
●大会の内容は
歩荷物を男子は十五キログラム、女子は十二キログラムを背負い、体力点五十点、技能点五十点の得点で競います。



跳べ!! 矢板高等学校・機械技術研究部

最先端の技術力で勝負とばかり矢板高等学校機械技術研究部は、今年八月秋田県で開かれたソーラーカーの全国大会「ワールド・グリーンチャレンジ」五時間耐久ラリーで一般大学生に混じり十九チーム中優勝、ジュニアクラスでも現在八連覇中です。なお、製作するソーラーカーは、地元のシャープ製です。

強い!!この成果を維持しているのは、この部で十八年、他校で四年、計二十二年のキャリアがある渡辺博顧問の熱い指導のもと、部員一同の努力のたまものです。日々の活動状況について、渡辺顧問と部員の皆さんにお話を伺いました。



●部の活動について

一九九六年に創部し、現在の部員数は十一名

（一年生五名、二年生三名、三年生三名）です。

●部活動は

毎日午後四時から七時頃まで部員全員が精力的に体を動かして頑張っています。顧問の渡辺先生は熱心に指導をしてくれるので、頼りにしています。

創部四年目の時に、初めて大会に出場し、入賞という成績を収めることができました。

●次の大会に向けて

十月一日〜二日の二日間にかけて行われる「ホンダエコマイレッジチャレンジ」に三台の出場を予定しており、もちろん優勝を目指しています。

また、OBの先輩たちも部室で一緒に製作しております、一般の部で二台参加する予定です。

●顧問の先生から

昨年からは、ふるさとまつりと軽トラ市で製作したSLを走らせ、市民の皆さんに楽しんでいただいています。この活動は、社会貢献につながっています。



ます。部員のみんなには、部活動から得た経験や知識を、将来の夢や仕事に役立ててほしいです。

（記者のコメント）

機械技術研究部は、卒業と同時に就職できるほか、進学においても技術・知識が役立っていると思います。設計・デザイン・鉦金・塗装など一貫してものづくりをすることができ、やりがいのある部活動だと思います。

（K・H、M・W）

